

開花日と満開日の基準は？

毎年桜のシーズンが近づくと耳にする「開花日」と「満開日」の言葉。どのくらいの桜が開くと、このような言葉が使われるのでしょうか。桜の状況は各地域にある基準となる木を観察して判断されます。「開花日」とは基準となる木の5～6輪以上が開いた日。「満開日」とは木の約80%以上の花が開いた日のことです。

昔の面影を残すヤマザクラ

運動公園グラウンドがまだ雑木林だった頃に群生していたヤマザクラ。そのうちの一本が移植され、役場の第2駐車場出入口近くで今も花を咲かせています。役場前を通りかかった際は昔の面影を残すヤマザクラを見上げてみてはいかがでしょうか。



桜が結ぶマレーシアとの友情

役場の第1駐車場付近の花壇に特別な桜があるのをご存知ですか。平成29年12月にマレーシア・ペタリングジャヤ市と姉妹都市提携を結んだことを記念して植樹された桜です。この植樹以降、現在も活発に交流を続けています。海を越えた友情を結んだ桜をぜひご覧ください。



案内は僕たちにまかせて！



(写真) 役場前の広場で遊ぶ子ども。グラウンドの周りを満開のソメイヨシノが彩ります。今年からこの場所で「三芳さくらまつり」が開催されます。

三芳町は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



三芳のサクラサク。思い出のサクラサク。

特集 サクラノウタゲ

三芳町が誕生してから今年で50周年を迎えます。この節目の年を記念して、今年から桜のシーズンに役場前の桜並木で開催される「三芳さくらまつり」。まつりの開催に先駆けて、三芳の桜について紹介します。

サクラノウタゲ

町の歴史とともに年輪を刻んできた桜の木の下で開催される「三芳さくらまつり」。まつりに向けて、三芳の桜についてもっと知ってみませんか。

次のページではみらいくんとのおみちゃんが町で桜が楽しめるスポットを紹介します。

今年この節目の年を記念して、今年から毎年桜のシーズンに合わせて、役場前の桜並木で「三芳さくらまつり」が開催されます。今年三芳町町制施行50周年。この節目の年を記念して、今年から桜のシーズンに役場前の桜並木で開催される「三芳さくらまつり」。まつりの開催に先駆けて、三芳の桜について紹介します。



から34年前。現在の桜並木と運動公園グラウンドは



上空から見た役場前の桜並木。散り始めにはたくさんの花びらが舞い上がります。